

横田基地へのミサイル配備計画は撤回を

質問 在日米軍が「地对空誘導弾パトリオット・ミサイル」を横田基地を含む首都圏に配備する検討を始めた、との新聞報道があった。配備計画は撤回を。

市長 国に対し事実確認を行ったところ、「政府としては承知していない」との回答があった。

質問 「沖縄タイムス」紙で報道されたC130輸送機等の劣化ウラン使用について真相を調査し、情報公開を。

市長 東京防衛施設局に事実確認を行ったが、「詳細を承知していない」との回答のみであったので、再度要請する。

◇子どもの安心・安全対策の加速化を
◇江戸街道公園を交通公園としての役割強化を

石居 尚郎 議員

子どもの安心・安全対策の加速化を

質問 通学路の見直しや調査点検・整備など安全対策について。

教育長 様々な視点からの改善要望を受け、その都度、緊急的に必要なもの、計画的に実施するものに分けて対応している。

質問 放課後子どもプラン（※注）実現に向けた市の対応は。

教育長 学校教育部、生涯学習部、子ども家庭部で協議している。実施に向けては様々な課題があると認識している。

質問 学童クラブを小学校内で実施す

る考えは。

教育長 将来的には状況を見ながら検討していきたい。

質問 不審者情報や道路工事情報などについてのメール配信は、すでに現実的活用をすべき時にきている。早急に教育委員会と総務部で協議し実行すべきではないか。

市長 行政情報や外部から寄せられた情報について、緊急性、必要性、影響の大きさなどを判断し情報の取捨選択をする必要があるため、早急に基準を作成し、情報提供の充実を図っていく。

町丁目別で最も高い地区はどこで何か。最も低い地区はどこで何か。

市長 町丁目別の緑被率は速報値の段階だが、最も高い地区は多摩川河川地域を除くと、羽加美四丁目で約48%、最も低い地区は小作台一丁目で約8%である。

公共施設駐車場の有料化について

質問 有料化の基準はどのようにして決められるのか。対象となる駐車場はどこか。いつから有料化されるのか。

市長 庁内で検討し、必要に応じて外部の意見も伺い、それぞれについて決定していく。

質問 いじめや不登校問題の対応に対して子どもや教職員、保護者をサポートする専門集団として、教育相談員を中心とする第三者機関「教育センター」の設置を提言する。

教育長 今後の充実に向けての参考とする。

※注 放課後子どもプラン事業
子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりを促進するため、文部科学省が推進する「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省が推進する「放課後児童健全育成事業」を一体的に実施し、子どもの安全・育成を図ろうとする事業。平成19年度から国が創設する制度。



▲子どもかけこみ 110番 (羽東3丁目付近)

◇学校給食費の未納について

たきしま
瀧島 愛夫 議員

平成18年9月議会の質問に対する答弁で、未納の解決方法については「研究も含めて検討していきたい」とのことであった。しかし、未納問題は時間的に猶予のある問題ではない。

質問 その後、未納問題解決に向けて、関係部署の対応について詳細に示して欲しい。

教育長 9月定例会以降、10月3日に開催した校長会で、16年度に完納校になつた栄小の例にない、教職員一丸となり給食費の収納率の向上に努めるよう指示するとともに、学校教育部内に給食費の収納方法について検討するよう指示した。

また、市教育委員会職員による給食費徴収業務の実施について検討を指示したが、給食費は個人消費分（個人が食べるもの）に含まれるもので、税金等の徴収対象とは異なり、個人情報保護による制約もあり、実施に向けての問題点を整理し、対応するよう指示した。

羽村・瑞穂地区学校給食組合に対しては、学校給食費未納対策をはじめ、新しい学校給食のあり方について、各市町ごとに検討委員会を設置し検討することを進言し、組合正副管理者会議で了承された。組合議会においても検討委員会設置について了承された。



▲調理の様子(学校給食センター)

◇羽村駅西口区画整理事業について
◇誰もが利用しやすく親しまれる地域会館の運営を
◇子育てへの応援を

いちかわ
市川 英子 議員

羽村駅西口区画整理事業について

質問 第四次羽村市長期総合計画・後期基本計画(案)に、配水管網の整備と公共下水道の整備に2億6千万円が事業費として計上されている。この事業費は355億円とは別か。

市長 355億円には含まれていない。

質問 福島県郡山市の区画整理事業は反対が多く、10年経過した今年、事業計画を原点に戻し変更をしたことで住民との合意が取れた。郡山市に学ぶべきと考えるがどうか。

市長 原点に戻すことは考えていない。

誰もが利用しやすく、親しまれる地域会館の運営を

質問 地域集会所と学習等共用施設の利用料が、コミュニティセンターやクラブハウスといった他の公共施設と比較して高いため「地域会館が利用しにくい」との声がある。利用料の引き下げをすべき。

市長 当面、現行の使用料で対応していく。



▲現在の羽村駅西口

質問 免除団体の認定を増すことや、減免制度を市として明確にすべきと考えるがいかがか。減免制度は「市長が認めるとき」とあるだけであいまいな表現である。時代の要請に応えた条文の整備を。

市長 施設によって不公平のないよう

学校給食センター運営審議会の席でも、同様の説明を行い理解をいただき、審議会からも意見をいただきたい旨の依頼をした。9月定例会以降、この問題に対し、各自治体の教育委員会が積極的に取り組むべき問題であると認識し、積極的に取り組んでいく考えである。

質問 未納問題解決に対するタイムスケジュールは。

教育長 今は、未納状況の把握、督促、催告事務の強化で対応しているところで、問題解決に向けて検討しているところであり、体制が整い次第、徴収業務を実施する。

◇地域の实情にあった時代をリードする図書館を
◇分権型社会を実現するツールとして補助金改革を急げ
◇教育をめぐる様々な問題について問う

はせひら 一ひら
馳平 耕三 議員

慎重に検討し、制度の明確化を図っていく。

質問 会館へ管理人を配置し、利用者の利便性を図るべき。

市長 管理人の配置は考えていないが、受付方法等をPRしていきたい。

子育てへの応援を

質問 コミュニティセンターとゆとろぎの保育室を地域へ開放するなど「集う場」の提供を。

市長 施設利用者の利便性を考慮して併設した部屋であり、地域への一般開放は考えていない。

地域の实情にあった時代をリードする図書館を

質問 「ゆとろぎ」が完成し数カ月たったが、図書の貸出数は前年と比較してどのくらい増えたか。

教育長 前年と比較すると1万7千890件の減である。今後も、ゆとろぎと一体となり利用者の増加につながるよう努める。

質問 地域の实情にあった館種を越えてつながる図書館が模索され始めてきているが、羽村市では、企業資料室や大学などと連携して、新たなネットワーク

ク作りをする考えはないか。

教育長 市民の求める情報が高度化・専門化する昨今において、企業や大学などと連携し、市民ニーズに対応したサービスを行うことは、図書館資料以外で付加価値を高める意味からも重要だが、まずは都立図書館等との協力貸出や、西多摩地域での広域連携を強化し、活用していく必要がある。

質問 ホームページや登録制のメール配信を通じて、その本の面白さやすばらしさを紹介するサービスはできないか。

教育長 平成19年度にシステムの移行を計画しており、その際には、更にインターネット上での情報提供に努めたい。

質問 カウンターや館長に民間人を登用する考えはないか。

教育長 今すぐ民間活力を導入する考えはないが、他で導入している図書館の評価も踏まえ研究したい。

質問 学校図書館や市図書館に著作権の講習などを受けた司書が常駐すべきと考えるが。

教育長 学校には校長会を通しながら、司書資格のある教員と各学校を定期的に回っている学校巡回司書を中心に、図書館からの情報や、東京都教育委員会が発行している「人権教育プログラム」や、文化庁から発行される資料をもとに著作権について対応するよう指導している。



▲利用者の様子(図書館)

- ◇学校の防犯や地域との連携などについて
- ◇選挙開票事務の短縮について
- ◇行財政改革推進プランについて

みずの
水野 義裕 議員

学校の防犯や地域との連携などについて

質問 今年度、小・中学校に設置された防犯カメラの活用は。

教育長 モニターは事務室と職員室に置かれ、センサーが反応すると光と音で知らせる。1週間分を録画。監視カメラがあることを掲示している。

質問 学校に係る組織との連携について。

教育長 広範囲の組織と連携していると認識し、学校安全ボランティア連絡会などを通じて、各組織に連絡している学校もある。学校が中心となって、それぞれの組織と直接連絡をとる体制づくりに取り組んでいきたい。

選挙開票事務の短縮について

質問 直近の選挙で開票に要した時間と、経費は。

選挙事務局長 衆議院議員選挙の小選挙区2時間31分、比例代表2時間58分。経費は約125万円。

質問 開票時間の短縮を。

選挙事務局長 正確性を第一に、改善を進め選挙事務を執行したい。

行財政改革推進プランについて

「基本方針3 新たな行政手法の活用を中心に何う。質問 P D C A (計画・執行・評価・見直し) サイクルの運用方法は。

市長 各事業のサイクルを約2年とし、四半期に一度進捗状況を検証している。



▲選挙開票の様子(会場:スポーツセンター)

質問 アウトソーシング(外部委託)の削減効果は。

市長 人件費の削減・市民サービスの向上が期待できると考えている。今後、各計画の進行管理の中で実際の効果を見定めていく。

質問 土・日開庁や開館日の拡大での費用対効果の評価基準は。

市長 アンケートなどで市民満足度を調査し評価する。

質問 自治体間の市民サービス相互利用の現状と今後の計画は。

市長 女性悩み事相談、消費生活相談の相互利用、戸籍証明の交付を行っている。さらに西多摩地域8市町村では、図書館の広域利用を実施し、スポーツ・レクリエーション施設も検討中である。

一般質問の内容を詳しく知りたい時は…

一般質問は、議員が市政に関する質問を行い、新たな施策の提案や市政に対する意見や要望を述べ、ときには是正を求め、市政をより良い方向へ導くために行うものです。

議会だよりに掲載されている質疑応答は、紙面の都合もあり内容を要約してお伝えしています。そこで、一般質問の詳しい内容をご覧になりたい場合は、

冊子になった会議録をご覧ください

議会事務局/図書館/市役所1階市政情報コーナーでご覧いただけます。

議会ホームページをご覧ください

羽村市ホームページ>議会>会議録検索>「ことば」「発言者」「日付」などから簡単に検索できます。

あなたも傍聴してみませんか？

次回の定例会は3月です

定例会の初日は2月28日(水)の予定です

請願・陳情の提出は2月15日(木)までに
議会事務局へお願いします。